

会告 I

第57回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第5報)

会員各位

第57回日本輸血・細胞治療学会総会を下記の要領で開催いたします。学会名称変更後、3回目の総会を開催するにあたり、本総会のメインテーマを「輸血医療を基盤とした細胞治療をめざして」とし、輸血医療の今日的な問題、およびこれからの細胞治療の展開について、関連学会の協力も得て広くテーマを設定いたしました。輸血医療に携わる全ての職種の皆様で、これからの輸血・細胞治療の方向性について議論を深めていただきたいと思います。会員の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

総会長 前田 平生

1. 開催地：さいたま市大宮区
2. 会 期：2009年（平成21年）5月28日（木）～5月30日（土）
3. 会 場：大宮ソニックシティ
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1-7-5
電話：048-647-4111 Fax：048-647-4159
ホームページ：<http://www.sonic-city.or.jp/>
4. 総会長：前田 平生（埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部）
5. 参加費：10,000円（事前登録はありません）
総会ホームページ <http://accessbrain.co.jp/jsbt57/>

【総会テーマ】輸血医療を基盤とした細胞治療をめざして

【プログラム（予定）】

1. 特別講演
 - 1) 救急医療の現状と刑事司法
演者：堤 晴彦（埼玉医大総合医療センター高度救命救急センター）
 - 2) 新型インフルエンザの大流行にどう備えるか？
演者：虫明 英樹（NHK報道局科学文化部）
 - 3) From Yu-血 to Eu-血：A World Quest for Good Blood Management
演者：Kenneth E. Nollet（福島県立医科大学附属病院輸血移植免疫部）
2. 村上記念賞受賞講演
3. シンポジウム
 - 1) 再生医療のこれからの展開
座長：加藤 俊一（東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学）
前川 平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部）
演者：1. ES-iPS細胞からの血小板産生
江藤 浩之，中内 啓光（東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター幹細胞治療部門）
2. 心筋再生
松山 晃文（大阪大学医学部附属病院未来医療センター）
3. 血管再生
浅原 孝之（東海大学大学院医学研究科再生医療科学）
4. 歯槽骨再生
日比 英晴（名古屋大学医学部附属病院顎顔面再生科）

5. 神経再生

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部生理学)

2) 臨床における細胞治療の最前線

座長: 藤井 壽一 (東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部)

半田 誠 (慶應義塾大学医学部附属病院輸血・細胞療法部)

演者: 1. 血管再生療法の細胞ソース

舘野 馨 (千葉大学附属病院循環器内科)

2. 心血管, 心筋再生

澤 芳樹 (大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科)

3. 骨髄間葉系幹細胞を用いた GVHD の治療

室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

4. 進行卵巣癌に対する CA125 特異的 T細胞療法

大久保光夫 (埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部)

5. 固形癌に対する細胞療法

菅野 仁 (東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部)

3) 産科領域における輸血ガイドライン

座長: 高松 純樹 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

竹田 省 (順天堂大学医学部産婦人科)

演者: 1. 産科領域における大量輸血のリスク

松永 茂剛 (埼玉医科大学総合医療センター産婦人科)

2. 輸血部の対応 (クリオ, フィブリノゲン)

山本 晃士 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

3. 産科 DIC に対するフィブリノゲン投与の実際

板倉 敦夫 (埼玉医科大学病院産婦人科)

4. 特殊症例の検討 (第 VII 因子製剤の適応)

小林 隆夫 (県西部浜松医療センター)

5. 産科における自己血輸血の現状

亀井 良政 (東京大学医学部附属病院周産母子診療部)

6. 輸血ガイドライン作成に向けて

久保 隆彦 (国立成育医療センター産科)

4) 造血細胞移植・採取

座長: 森島 泰雄 (愛知県がんセンター中央病院)

豊嶋 崇徳 (九州大学病院遺伝子・細胞治療部)

演者: 1. 骨髄移植

宮村 耕一 (名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター)

2. 非血縁 PBSCH (DLI 含む)

高見 昭良 (金沢大学附属病院輸血部)

3. 末梢血幹細胞移植

豊嶋 崇徳 (九州大学病院遺伝子・細胞治療部)

4. アフェーレシスの安全性

甲斐 俊朗 (兵庫医科大学病院輸血部)

5. 臍帯血移植

谷口 修一 (虎の門病院血液科)

6. 造血細胞移植と HLA

柏瀬 貢一 (東京都赤十字血液センター検査部検査三課)

5) 輸血領域における安全対策

座長: 稲葉 頌一 (神奈川県赤十字血液センター)

星 順隆 (東京慈恵会医科大学輸血部)

- 演者：1. 輸血・細胞治療学会による ABO 不適合輸血調査
藤井 康彦（山口大学医学部附属病院輸血部）
2. 院内検査・血液供給体制
友田 豊（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部）
3. 過誤輸血防止システムと副作用報告
大坂 顯通（順天堂大学医学部輸血・幹細胞制御学）
4. O 型, 異型適合血の運用
入田 和男（九州大学病院麻酔科蘇生科）
5. 小規模医療機関の安全対策
稲葉 頌一（神奈川県赤十字血液センター）

6) 臓器移植と輸血・抗 HLA 抗体

- 座長：前田 平生（埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部）
國土 典宏（東京大学医学部附属病院肝胆膵外科）

- 演者：1. 脳死移植の現状（心臓移植を含む）
福蔭 教偉（大阪大学医学部附属病院移植医療部）
2. 肺臓移植
佐野 由文（岡山大学病院腫瘍・胸部外科）
3. 肝臓移植
菅原 寧彦, 國土 典宏（東京大学医学部附属病院肝胆膵外科）
4. 腎臓移植
小林 孝彰（名古屋大学医学部免疫機能制御学）
5. 脾・脾臓移植
後藤 満一（福島県立医科大学附属病院消化器・一般外科）

4. パネルディスカッション

1) 外科手術における適正使用

- 座長：高橋 孝喜（東京大学医学部附属病院輸血部）
牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

- 演者：1. 適正使用・管理料に関する調査
田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター臨床病理科）
2. 心臓血管外科における適正使用
碓氷 章彦（名古屋大学医学部附属病院心臓外科）
3. 肝臓外科における適正使用
長谷川 潔（東京大学附属病院肝胆膵外科）
4. 救命救急における適正使用
山口 充（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）
5. 血漿, アルブミン製剤の適正使用
熊川みどり（福岡大学病院輸血部）

2) 血小板輸血の諸問題

- 座長：椿 和央（近畿大学医学部奈良病院血液内科）
羽藤 高明（愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

- 演者：1. 血小板輸血の適応（禁忌も含めて）
上田 恭典（倉敷中央病院血液内科・血液治療センター）
2. 外科手術における止血対策と血小板輸血
宮田 茂樹（国立循環器病センター輸血管理室）
3. 特殊病態の血小板輸血
松本 雅則, 藤村 吉博（奈良県立医科大学輸血部）
4. 洗浄血小板による副作用防止
東 寛（北海道赤十字血液センター研究部）

5. HLA 適合血小板の現状

森田 庄治 (埼玉県赤十字血液センター)

3) 臨床検査技師のこれからの課題

座長: 安田 広康 (福島県立医科大学輸血・移植免疫部)

高橋 智哉 (市立札幌病院検査部輸血検査)

演者: 1. 技師教育への対応

東谷 孝徳 (久留米大学病院輸血部)

2. 検査体制と臨床への対応

奥村 亘 (山形県立中央病院中央検査部)

3. 検査と研究への対応

安田 広康 (福島県立医科大学輸血・移植免疫部)

4. 技師教育への対応 (認定輸血検査技師カリキュラム委員の立場から)

寺内 純一 (昭和大学藤が丘病院中央臨床検査部)

5. 製剤管理 (適正使用) の推進

安藤 高宣 (愛知医科大学病院輸血部)

6. トランスレーショナルリサーチを支える臨床検査技師

伊藤 経夫 (東北大学未来医工学治療開発センター)

5. ワークショップ

1) 血液センターの集約化—供給, 検査への影響—

座長: 松崎 浩史 (東京都赤十字血液センター献血二部)

米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

演者: 1. 日赤血液センターの集約化

西田 一雄 (日本赤十字社血液事業本部)

2. 血液センター集約化後の影響

清川 博之 (福岡県赤十字血液センター)

3. 血液センターの検査, 供給体制

榎本 隆行, 松下 俊成 (埼玉県赤十字血液センター)

4. 臨床検査センターの対応

伊藤 芳彦 (BML 総合研究所免疫化学部)

5. 地方病院1 四国

高杉 淑子 (高松日赤病院検査部)

6. 地方病院2 長野

塩原信太郎 (諏訪赤十字病院血液内科)

2) 院内製剤の調製基準

座長: 田野崎隆二 (国立がんセンター中央病院臨床検査部)

室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

演者: 1. クリオ製剤の調製

宮田 茂樹 (国立循環器病センター輸血管理室)

2. 洗浄血小板の調製

下平 滋隆 (信州大学医学部附属病院輸血部)

3. 院内製剤・細胞処理のための指針 (案)

室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

4. 臍帯血等の基準

長村登紀子 (東京大学医科学研究所附属病院輸血部)

5. 細胞処理・保管・管理に関する調査

池田 和真 (岡山大学病院輸血部)

3) これからのヘモヴィジランス（血液監視システム）

座長：高本 滋（愛知医科大学附属病院 輸血部）
藤井 康彦（山口大学医学部附属病院 輸血部）

演者：1. 院内監視システム

紀野 修一（旭川医科大学病院臨床検査・輸血部 輸血・細胞療法部門）

2. 副作用感染症報告制度と日赤への副作用報告（感染症を含む）の現状
百瀬 俊也（日本赤十字社 血液事業本部 安全管理課）

3. 輸血副作用パイロットスタディーから
浜口 功（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

4. 大学病院輸血部会議から
能登谷 武（秋田大学附属病院輸血部）

5. 輸血・細胞治療学会総合アンケートから
米村 雄士（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

6. これからの副作用監視制度
加藤 栄史（愛知医科大学附属病院輸血部）

4) 学会認定・自己血輸血看護師制度

座長：脇本 信博（帝京大学医学部附属病院整形外科）
大戸 斉（福島県立医科大学附属病院輸血移植免疫部）

演者：1. 貯血式自己血輸血の現状

面川 進（秋田大学医学部附属病院輸血部）

2. 学会認定・自己血輸血看護師制度の必要性
田崎 哲典（東京慈恵会医科大学輸血部）

3. 看護師の立場から
宮林千鶴子（富山大学附属病院輸血・細胞治療部）

4. 学会認定・自己血輸血看護師制度の問題点
大戸 斉（福島県立医科大学附属病院輸血移植免疫部）

5. 学会認定・自己血輸血看護師制度の行程
脇本 信博（帝京大学医学部附属病院整形外科）

6. 教育講演

1) 輸血管理体制・適正使用推進に関する調査

演者：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

2) 血液製剤の細菌汚染の現状と対策

演者：名雲 英人（東京都赤十字血液センター）

3) 危機的出血対応ガイドライン

演者：稲田 英一（順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

4) 赤血球血液型と抗体検査

演者：内川 誠（東京都赤十字血液センター技術部）

5) 小児輸血療法—指針からみでの評価

演者：堀越 泰雄（静岡県立こども病院）

6) 臓器移植と抗HLA抗体

演者：小林 孝彰（名古屋大学医学部免疫機能制御学）

7) TRALIおよび類似副作用の病態と診断

演者：岡崎 仁（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所研究二課）

8) MRSA感染症の新しい展開

演者：平松 啓一（順天堂大学医学部細菌学・感染制御科学）

7. 輸血問題検討部会：血液製剤による感染症の予防対策

座長：高橋 孝喜（東京大学医学部附属病院輸血部）
山口 一成（国立感染症研究所血液・安全性研究部）